三原のビジョン「三原の誇想創力」

【資質の高い三原市民づくり】

協働のまちづくりの根幹となるのは、市民のまちを誇る想いです。市民の資質が向上する土壌づくりができれば自ずとまちの潜在的な底力が高まるでしょう。

人づくりの基盤整備

- 雇用の確保と拡大（経済発展の必要性）
- 防災対策
- 高齢化、福祉環境
- グリーンコンシューマー活動の推進
- 医療体制の充実

三原独自の共育環境の創造

- 「おやじの会連合会」の設立
- 「町内会子ども育成グループ」再構築プログラム
- 新学校評価制度の導入
- 家庭・学校・地域が連携した共育（PTCA）

人づくりの環境

子育てしやすい基盤整備（人口増加）

- 24時間託児所の開設、及び無料化
- 24時間子ども病院の開設
- 大型児童図書館の開設
- 義務教育までの生活費一時保障（医療費無料・出産報奨金など）
- 子育てサポートセンター

地域環境の整備

- NPO（非営利活動団体）の育成

互いの資質を向上しあえる環境

- 地域特性や歴史伝統文化が学べる「まちづくり勉強会・交流会」
- 地域の問題を議論できる「まちづくり地域審議会」

【住民が一体感を感じられるもの】

協働のまちづくりを効果的に行う為には、市民の総力を結集しなくてはなりません。志を同じくした市民同士が相手の個性、立場や環境を尊重し相互理解しあえれば、より親密となり信頼関係が生まれ、自立したまちに向けて大きな推進力となるでしょう。

一体感を持つための基盤整備

- 各小学校区に地域支援センターを設置
- 手軽に利用できる「ワンコインループバス」を導入
- 大和町⇔市街地、本郷町⇔大和町、久井町⇔市街地などの道路交通整備
- 光ファイバーなどの情報網整備、情報の共有化

一体感を持つための交流

- 各地域の祭りに積極的に参加する
- 鷺島トライアスロンを全国的な大会にする（全国的なスポーツ大会誘致）
- 体操チーム・バレーボールチーム・サッカーJリーグ（チーム名：オクトパス三原）を作る
- 新文化会館を核とする各地域との文化交流
- 他地域の学校との学校間交流

【まちのオリジナリティ】

＊誇りあるまちの創出＊

協働のまちづくりでは、独自性を活かした魅力溢れる個性的なまちを市民が主体となって創出できます。他所には無いこのまちのアイデンティティ（気候・風土・歴史・文化）を最大限に活かし、オリジナリティ（追加価値）を創出することは、このまちの存在意義を高めることになるでしょう。

三原の歴史、伝統文化の継承

- 自然、景勝地（瀬戸の多島美・久井の岩海・沼田川・白滝山・筆影山・白龍湖・佛通寺・本郷の古墳）を活かす
- 各地域の歴史、伝統文化を継承
- 歴史、伝統文化（やっさ踊り・神楽・はだか祭り・神明市・さつき祭り・浮城祭り・白龍湖祭り・酒・三原だるま・「浮城」復活）を活かす
- まちに愛着を持った子どもの育成

観光資源の活用

- 歴史、伝統文化の情報発信（映画・歌・詩・小説など）
- 三原の特産品にシンボル・ロゴを付ける
- やっさ祭りを全国に向けて情報発信
- 小早川 隆景を題材にした映画・漫画・テレビドラマを製作する
- 水産物・農産物を活かしたオリジナル商品の創出

- 海外へ三原ブランドを輸出する

地域資源を活用した産業の創出

- 駅前総市場化
- 横山 大観美術館設立
- 小早川 隆景資料館設立
- 県立広島大学三原キャンパスを中心に産官学民と連携を図り、福祉産業誘致や創出をする
- 工業団地への最先端企業誘致・ベンチャー企業の誘致
- 地域性を打ち出すために各称の変更（例：三原国際空港）
- アイデンティティ化しうる産業の創出
- 県立広島大学三原キャンパス駅前分校開設
- 海外からの観光客誘致（文化交流・人的交流）

さらに、その先に見えてくる三原の可能性として!!

資質の高い三原市民が一体となって、まちのオリジナリティを創出する時、三原の存在意識が高まり、誇りある（愛着のある）オンリーワン（他所には無い）の輝くまち（個性溢れる）三原となるでしょう。

中国州 州都を三原に!!

財政の逼迫に端を発した地方分権とそれに伴う合併の流れは、市町村にとどまらず都道府県にまで及ぶ事が予想され、道州制は必然といえる状況になりつつあります。

その中で、やがて誕生する可能性のある中国州、その中国州を考える時、私たちのまち三原市はその州都として適性のあるまちであり、「州都三原」となることは三原市にとっても価値の高いものだと私たちは考えます。

1）「州都三原」の適性

＜経済都市との分離＞

・経済の中心都市を行政の中心都市としないほうが良いことは世界の常識です。広島空港周辺には州庁など都市開発が可能な地域が十分にあります。

＜空港都市＞

・道州制においては州外交が重要となります。州外交の拠点として中国州の中心に近い広島空港を強化して利用できます。

・広島空港へのアクセス道は計画段階のものも含めてすでにかなり充実しており、州都への新規の道路網整備費用が軽減できます。

・県より大きく広がる行政エリアに対応する為の時間距離の短縮には空路が有効で、州内のどの地域へも最短時間で移動が可能な事は、危機管理にとって重要です。

例）州警察、州消防、災害救助隊の派遣など

＜交通網の要衝＞

・三原市は空港以外にも、山陽自動車道、新幹線、港といった交通の要衝です。現在の市街地と空港のアクセスを整備する事で、あらゆる交通手段に対応した州庁となりえます。

＜地理特性＞

・中国地方の現在の経済的中心都市は広島市、岡山市です。一極集中を避けるためにもそのほぼ中間に位置する三原市が州都となることは2都市にとって利点が大きいと考えます。

例）キャンベラ（シドニーとメルボルンのほぼ中間）

・学術都市である東広島市と隣接することで学術界と行政との連携が促進され、産業界にもよい影響を与えると考えます。

2）「州都三原」のもたらす価値

＜新規雇用の創出＞

・行政の中心地となることにより、行政関連雇用や雇用を伴うＮＰＯ法人が新規に創出されます。

＜新産業の創出＞

・法曹界関連の士業等、これまでの三原にはない業種に生計の場が生まれます。

例）弁護士等の士業、雇用を伴うＮＰＯ法人、ソフト開発業等の世界戦略企業、旅行業、輸出入業など

＜まちづくりの人材創出＞

・州内のリーダーとして州庁の政治や行政に関わる人材をはじめとし、州内の人材が集まります。この人材は三原のまちづくりにおいてもリーダーとなりうるでしょうし、それらリーダーを育てる教育機関も創る必要があると考えます。

例）質の高い協働型市民会議、日本のリーダーを育てる高等教育機関など

（社）三原青年会議所では、大きな視野で新市の将来像を構想してゆかなければならないと考えています。地方分権は今回の合併で終わりではなく、始まりととらえて次なるステップを考慮して活動しなければなりません。更なる広域合併の動きとして、道州制度が考えられています。その動きの中に飲み込まれないよう、三原も中国州の一つのまちとしてではなく、その中にあっても誇りあるオンリーワンの輝くまち三原になっておく事が重要であると考えます。その為の素材は、この“まち”に充分に揃っています。むしろ、その素材を生かすために、住民が一体となってまちづくりを行えるよう意識の向上を図ることが先決であると思われます。そうすれば、自然と周りから州都に選ばれるまちとなれると考えます。

このたび（社）三原青年会議所では、住民の意識の向上を目指せるようなビジョンを発表致しました。このビジョンを実現に近づければ、いつしか魅力溢れるまちとなり、人が訪れたい、住みたい“まち”に変わってゆけると確信しています。

本誌やっさもっさは、㈳三原青年会議所の自主財源とここに掲載の企業のご協力を得て発行しています。

三原郷心会
三原金融協会
三原商工会
三原グランドパレス
三原国際ホテル
三原シティーホテル
三原重量㈱
三原スーパー
三原ターミナルホテル
三原テレビ
三原美装社
三原マツダ販売㈱
三原皆実
三宅石材店
三好印刷㈱
天ぷら割烹もみぢ
土居写真場
東亜不動産㈱
とき・わ薬局
トモテツ観光バス株式会社
とりごえ食品㈱
中川書店
中村電機工業㈱
なぎさ医院　内科・皮膚科
食遊和（なごみ）
Natural～ナチュラル～
dining bar むねひろ歯科クリニック
ラウンジ奈菜
居酒屋むらか美
居酒屋村上鉄工所
なんばレディースクリニック
ナンバリ洋服店
皆実町㈲西野霊苑
㈱森川観光グループ
森
㈲灰谷鉄工所
㈱もりみよう
翠
ビストロSOBO
TKC桧山幸三税理士事務所
平田歯科医院
スタンド　ひらた
翼
㈲ハリカさ三原店
半
㈲原博善社
やきとり大吉三原店
ヤスミチ美容室
㈱やっさ石油
㈲ヤマサ建設
㈲山田脳神経外科
大和路田舎料理
マイエッグ　ヤマナ
山根衣料
山本館
㈲ゆうひえんグループ
花と緑と環境を創造する
上栗献銘　ヤッサ饅頭本舗
三原の味です名物です
ヤッサ饅頭本舗
㈲ヤマサ饅頭